

修学旅行での体験と学び

広島県立呉南特別支援学校
小学部第6学年 土井 翔太

修学旅行での体験と学び

土井 翔太

十月十二、十三日に修学旅行に行きました。修学旅行では、京都府の東映うずまさ映画村と金閣寺、兵庫県のキツガニ了甲子園に行きました。修学旅行を通していろいろなことを学びました。

東映うずまさ映画村では、班のみんなでこぎつねスタンプラリーとウオークラリーをしました。町探して、写真と同じものを見つけたら紙にメモします。ぼくたちの班は、まず、こぎつねスタンプラリーをしました。地図を見て、みんなはどこに行くか相談してスタンプをおきました。ぼくは、目的地にどうやってたらいけるか考えながらしました。ウオークラリーとこぎつねスタンプラリーを同時にすればよかったです。みんなと協力してやって

楽しかったです。そこから、みんなて協力す
るとよいと思いました。

金閣寺では、文化にふれました。金閣寺を
実際に見て、写真で見ると、実際の光が美
しいと思えました。落ちついた感じでキラキ
ラかがやいていました。写真で見ると、実
際に見る方がきれいだったということも学ばし
ました。

キツザニア甲子園では、いろいろな仕事体
験ができます。ぼくは、すぐにビルメンテ
ンスも予約しました。その後、どんな仕事か
あるか見て回り、ソートセーτζ工ぼう、裁判所
(弁護士)の仕事体験をしました。ビルメン
テナンスは、ビルがよごれていたり、こわれて
いた所を所があれば、掃除や修理をする仕
事です。キツザニア甲子園では、周りをよく
見て、自分で考えて行動することや、地図を
見て、いろいろな所に行く力を身に付けまし
た。今回は、三つの仕事を体験しましたが、
今度は、他の仕事も体験したいです。

今度は、他の仕事も体験したいです。

修学旅行を通して、みんなで協力すること
のよさなども学びました。いろいろ学んだこ
とを生活に生かしたいです。また、修学旅行
で友達といろんな友達にいろいろな話をし
ました。とても楽しかったです。

＜指導者の言葉＞

本作品は、自立活動の時間において作成しました。「他者の意図や感情の理解」「言語（日本語）の表出や活用」について、修学旅行を題材に、児童自身や教師との対話を通して作成しました。読み手に伝わりやすい表現、内容の整理、構成立ては、国語科で学んだ知識・技能とも関連させ、重点を置いて指導しました。

作成の過程は次のとおりです。

- ① イメージマップに「修学旅行」に関する体験や感じたこと等を書き込み、内容を膨らませる。
- ② イメージマップを見て、整理の視点を決める。
（例）全体的に学びについての内容が多いから「学び」という視点でまとめよう。
- ③ 作文メモを活用し、初め・中・終わりにどのような内容を書くのか構成を考える。
（例）中の部分の段落には、行先ごとに学びを整理しよう。
- ④ 下書きをし、推敲する。
- ⑤ 清書をする。

各過程において、児童が自分で取り組みながら、必要に応じて、教師と対話することで、内容を膨らませたり修正や推敲をしたりしていきましました。「この文の書き方だと、このような意味に伝わるけど合っているか」「ここをもっと詳しく知りたい」など、教師が一読み手としての感じ方を伝え、それに対して、児童がどのような内容を伝えたいのかを答えたり、どのように表現するとより良いか考えたりするといったように、児童の思いがより伝わりやすい表現を、対話を通して考えさせることを大切にしました。